

水道施設の耐震化の状況について



水道施設は、生活に欠かせない重要なライフラインであり、地震などの災害時においても断水による社会経済や生活への影響を最小限にとどめることが重要であるため、地震に強い水道管への取替え等、耐震化を進めています。

ここでは、吉田町における水道施設の耐震化の状況についてお知らせします。

浄水施設の耐震化

井戸からくみ上げた地下水を浄化処理するための施設です。吉田町では第1浄水場、第2浄水場、第3配水場、除鉄除マンガン施設の4か所の浄水施設を有しており、耐震化率は100%となっています。

浄水施設の耐震化率 (令和元年度末現在)
100.0%

$$\text{浄水処理能力(耐震化)} \div \text{全浄水施設能力} \times 100$$
$$(25,300\text{m}^3/\text{日} \div 25,300\text{m}^3/\text{日} \times 100)$$



第2浄水場

配水池の耐震化

水道水は天候や時間帯によって使用量が変わることから、安定的に供給するために貯めておく施設です。吉田町では、第1配水池、第2配水池、第3配水池、第2浄水場の4か所の配水池を有しており、耐震化率は100%となっています。

配水池の耐震化率 (令和元年度末現在)
100.0%

$$\text{配水池有効容量(耐震化)} \div \text{全配水池有効容量} \times 100$$
$$(9,400\text{m}^3/\text{日} \div 9,400\text{m}^3/\text{日} \times 100)$$



第1配水池

管路の耐震化

漏水リスクの高い管を計画的に耐震性のある管に取替えています。吉田町では、約300kmの水道管が埋設されており、耐震化率は28%となっています。

管路の耐震化率 (令和元年度末現在)
28.7%

$$\text{管路延長(耐震化)} \div \text{管路総延長} \times 100$$
$$(86,053\text{m} \div 299,400\text{m} \times 100)$$



配管状況